

経営概論

(授業概要)

経営や意思決定を行う上で必要な財務諸表の知識と、財務分析を行うことによって、諸事情に対応するためのバランス感覚を養い、経営のおける人、モノ、カネ、情報の流れを理解する。

科	生命科学科	きょういん 教員	藤塚 暢
コース	TCA	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2 年	ねんかんとんいじかん 年間単位時間	70 時間

目標

1 学期

財務諸表について学習し、財産状況、経営成績の分析を行い、経営に必要な財務知識を身につける。
ビジネス会計についての知識を身につける

2 学期

現代社会の基本的な構成要素のひとつである「組織」について、その基本的な概念・知識を身につける。さまざまな組織行動の考察に応用できる。
経営戦略の代表的な理論とフレームワークを学び、それらを事例に当てはめてみることを通して、企業現場での実践に役立つ知識を得ることを目標とする。

授業計画

- 1 回 オリエンテーション、授業概要
- 2 回 財務諸表とは
- 3 回 貸借対照表とは、貸借対照表の良し悪し
- 4 回 貸借対照表が表すものの貸借対照表の構造
- 5 回 資産の分類
- 6 回 貸借対照表のルール
- 7 回 貸借対照表の財務分析
- 8 回 復習
- 9 回 損益計算書とは 損益計算書のルール
- 10 回 損益計算書の良し悪し
- 11 回 損益計算書の財務分析
- 12 回 復習
- 13 回 キャッシュフロー計算書
- 14 回 営業活動、投資活動、財務活動によるキャッシュフロー
- 15 回 前期末試験

16回	前期末試験
17回	原価計算概論
18回	損益分岐点
19回	利益計画
20回	経営学とは、経営組織について
21回	株式会社とは、PDCAサイクル
22回	持株会社、事業部制について
23回	マトリックス組織とは、期待理論
24回	XY理論、リーダーシップ
25回	経営戦略論 計画的戦略、創発的戦略
26回	多角化と肥大化、
27回	PPMの金なる木
28回	コアコンピタンスの活用
29回	競争に勝つためには
30回	マーケティングのSTP
31回	商品特性とマーチャンダイジング
32回	復習
33回	後期末試験
34回	後期末試験
35回	FFPとブランド

じゅぎょうほうほう 授業の方法
講義、グループ活動

きょうざい 教材
なし

ひょうかほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、 じょうじょう 平常点 20% （ しゅつせきりつ 出席率 、 じゅぎょうたいど 授業態度 等）

じゅぎょうがいがくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし

じつむけいけんじゅぎょうかもくかんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

基礎健康管理学Ⅱ

(授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。

動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	石原 昌代
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35 時間

もくひょう
目 標

1 学期

エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。

最低限の応急処置、対応ができること、また、起こさない予防策、接し方を習得する。

実際の症例課題を与え、問題点、応急処置、対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

2 学期

引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。

動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し、最終形である死、についても理解を深める。

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 回 授業について エマージェンシーとは
- 2 回 状態確認の方法
- 3 回 応急処置 出血
- 4 回 応急処置 出血
- 5 回 応急処置 やけど
- 6 回 応急処置 やけど
- 7 回 応急処置 熱中症
- 8 回 応急処置 熱中症
- 9 回 応急処置 ショック
- 10 回 応急処置 ショック
- 11 回 応急処置 骨折
- 12 回 応急処置 骨折
- 13 回 実習
- 14 回 実習
- 15 回 応急処置 眼球突出

16回	前期試験
17回	前期試験返却
18回	応急処置 眼球突出
19回	応急処置 眼球突出
20回	応急処置 けいれん発作
21回	応急処置 けいれん発作
22回	応急処置 感電
23回	応急処置 感電
24回	応急処置 窒息
25回	応急処置 窒息
26回	応急処置 中毒 誤食
27回	応急処置 中毒 誤食
28回	グリーフケア
29回	グリーフケア
30回	老齢動物の飼育管理
31回	老齢動物の飼育管理
32回	安楽死 エンゼルケア
33回	安楽死 エンゼルケア
34回	後期試験
35回	後期試験返却

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学、グループワーク
きょうざい 教材
コンパニオンアニマルの新健康管理学 プリント 動物
ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%（症例レポート点含む）、出席率 20%
じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし
じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
動物看護師

動物人間関係学

（授業概要）

人と動物の関係について、その歴史と現在の状況について学ぶ。動物と暮らすことの恩恵、適切に関わるための知識（人と動物の福祉、動物介在介入、虐待等）についての理解を深め、動物看護師として社会の人々を支援できる力を育てる。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	中野 あや
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35 時間

目 標

1 学期

人と動物の関わりの歴史と現在の状況について学び、ペットが人に与える影響について理解する。
日本と欧米の動物の在り方について、その違いを説明できるようになる。

2 学期

動物介在介入について理解し、動物福祉の観点から活動を評価できるようになる。
人と動物の福祉の観点について学び、適正飼育や虐待についての知識を深める。

授 業 計 画

1 学期

- 1 回 人と動物の関係学：ガイダンス
- 2 回 なぜペットを飼うのか（4 章－1）
- 3 回 ペットの歴史と現状（4 章－2）
- 4 回 5/12 休講（課題）
- 5 回 人と動物の関係の歴史（1 章－1）
- 6 回 動物と日本の文化①（1 章－2）
- 7 回 動物と日本の文化②（1 章－2）
- 8 回 日本と西洋の動物との関わりの比較（1 章－3）
- 9 回 現代の動物の使用状況（2 章－1）
- 10 回 人の健康への動物の効果（2 章－2）
- 11 回 前期試験
- 12 回 前期試験返却、解答
- 13 回 動物介在活動の定義と歴史①（3 章－1）
- 14 回 学校飼育動物の現状（3 章－3）
- 15 回 動物介在行動を実施するために①（3 章－2）

16回	動物介在行動を実施するために②（3章―2）
17回	動物虐待の定義と背景（5章―1）
18回	動物の役割（使役場面、高齢者、子供）と虐待（4章―5）
19回	学校飼育動物の目的と実際（3章―3）
20回	ペットと幸せに暮らすために（4章―3）
21回	エキスポに参加する動物たちについて考える（計画）
22回	インターンシップ休講
23回	インターンシップ休講
24回	エキスポに参加した動物たちについて考える（結果）
25回	ペットの現状について復習（4章-1,2）
26回	ペットへの愛着と依存（4章―4）
27回	ペットロス（4章―5）
28回	動物虐待の対処と法規制（5章―2,3）
29回	多頭飼育問題、高齢化による飼育困難（5章―4,6）
30回	ベテリナリーソーシャルワーク（5章―7）
31回	後期の復習
32回	後期試験
33回	後期試験返却、解答
33回	人と動物の関係学：総括
35回	課題

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書4巻、資料動画

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、 じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
参考図書の紹介

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

動物行動学

（授業概要）

動物の診療及び看護に不可欠である動物の行動とコミュニケーションについて学ぶ。また行動を導くための学習理論について理解を深め、近年問題意識が高まっている犬と猫の問題行動について詳しく学び、その予防や初期対応を考える。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	中野 あや
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	70

目 標

1 学期

- ・動物行動学の基礎として、維持行動、社会行動などの行動の発現と発達について理解する
- ・犬と猫のコミュニケーション方法とその意味、発達について理解する

2 学期

- ・行動を導くための学習理論について理解する
- ・犬と猫の問題行動についての基礎を学び、臨床でよく出会う問題行動について理解を深める

授 業 計 画

1 学期

- 1 回 動物行動学とは・総論・5つの自由
- 2 回 猫のコミュニケーション・猫の行動観察（猫使用）
- 3 回 犬のコミュニケーション・犬の行動観察（犬使用）
- 4 回 5/12 休講（課題）
- 5 回 動物行動学の成り立ち・行動の進化と適応・家畜化
- 6 回 維持行動の意味と効果
- 7 回 群れの行動・哺乳類の生殖戦略。敵対行動と親和行動
- 8 回 行動の発現と制御・行動の周期性
- 9 回 行動の発達科学・社会化期
- 10 回 行動に影響を与える要因：遺伝と環境
- 11 回 前期試験
- 12 回 前期試験返却、解答
- 13 回 前期まとめ
- 14 回 動物関係業種と行動学
- 15 回 後期の総論：学習理論と行動治療

16回	学習理論①馴化・感作と脱感作・般化
17回	学習理論②条件づけ・消去・行動形成
18回	学習理論③行動形成と正の罰
19回	問題行動とは・問題行動の関連因子
20回	行動診療と治療の流れ
21回	エキスポと動物行動学
22回	学習理論の復習、行動学のビデオ視聴
23回	行動診療の治療①刺激制御、行動修正法
24回	行動診療の治療②その他の療法、行動と薬物
25回	犬と猫の排泄トラブル
26回	犬と猫の常同行動・転位行動
27回	犬と猫の不安障害
28回	犬と猫の攻撃行動
29回	犬と猫のその他の問題行動
30回	問題行動の予防・快適な環境
31回	後期の復習
32回	後期試験
33回	後期試験返却、解答
34回	1年のまとめ
35回	課題

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
講義資料、犬猫の動画、生体の観察

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、 じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
参考図書の紹介、休憩時間の質問対応

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

就職演習

(授業概要)

就職活動において必要な知識、スキル、また社会に出た際必要となるルールやマナーを学び、今後の就職活動や社会人になったときに活かせる知識を身につける。

科	生命科学科	きょういん 教 員	稲岡 愛
コース	トレーニングケアゼミ・ショップゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35

もくひょう
目 標

- 1 学期
- 自分を最大限アピールできる履歴書が書けるようになる。
インターンシップ実習にも活かせる社会のルールを知る。
- 2 学期
- 社会に出たときのルール、マナーを学ぶ。
就職面接における受け答えをイメージし、シミュレーションできるようになる。

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 回 履歴書①
- 2 回 履歴書②
- 3 回 履歴書③/あいさつ
- 4 回 履歴書④/あいさつ
- 5 回 履歴書⑤/あいさつ
- 6 回 来客対応①
- 7 回 来客対応②
- 8 回 電話対応①
- 9 回 電話対応②
- 10 回 名刺交換
- 11 回 前期試験
- 12 回 試験フィードバック
- 13 回 序列
- 14 回 就職面接の準備
- 15 回 前期のまとめ
- 16 回 前期試験
- 17 回 前期試験返却
- 18 回 就職面接準備①/身だしなみ①

19回	就職面接準備②/身だしなみ②
20回	就職面接準備③/言葉づかい①
21回	就職面接準備④/言葉づかい②
22回	就職面接準備⑤/言葉づかい③
23回	話の聞き方①
24回	話の聞き方②
25回	話の聞き方③
26回	SNSについて①
27回	SNSについて②
28回	SNSについて③
29回	訪問①
30回	訪問②
31回	動物業界で就職するために
32回	職場における人間関係
33回	社会人1年生に向けて
34回	後期試験
35回	後期試験返却・社会に出るということ

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん しゅっせきりつ じゅぎょうたいど 期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
就職活動、インターンシップ実習の際の実践

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

コンパニオンキャットⅡ

(授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、ペットショップ、動物保護、動物看護）を目指すうえでしておくべき猫の基礎知識について、ブリーディング、老猫のケア、猫のシャンプー、カラー遺伝を中心に全般的な知識を習得する

科	生命科学科	教員	上田
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35時間

目標

1 学期

来客されるお客様がブリードされる時細かく、お客様が安心してブリード出来るように、正しく説明できるようになる。

大事な猫ちゃんとの別れを猫にとっても飼い主にとっても後悔の内容にオーナー様に話せるようになる。

2 学期

カラーを知ること、販売する猫のカラーが正しいか又お客様から質問された時、解りやすく説明できるようになる。

授業計画

1 学期

- 1 回 ブリーディング① (正しいブリーディング)
- 2 回 ブリーディング② (4つのブリーディング①)
- 3 回 ブリーディング③ (4つのブリーディング②)
- 4 回 ブリーディング④ (交配に適した条件)
- 5 回 ブリーディング⑤ (交配の取決め)
- 6 回 ブリーディング⑥ (交配前の雌猫のコンディション)
- 7 回 ブリーディング⑦ (法背後の母猫の管理)
- 8 回 ブリーディング⑧ (受精・受胎確認)
- 9 回 ブリーディング⑩ (出産準備①)
- 10 回 ブリーディング⑪ (出産準備②)
- 11 回 ブリーディング⑫ (出産DVD)
- 12 回 ブリーディング⑬ (出産前の母猫の変化)
- 13 回 ブリーディング (出産)
- 14 回 ブリーディング (出産中のトラブル)
- 15 回 ブリーディング (産後のトラブル)
- 16 回 ブリーディング (人口哺乳①)
- 17 回 ブリーディング (人口哺乳②)

18回	前期テスト
19回	前期テスト答え合わせ＆不理解部分の説明
2学期	
20回	ブリーディング（性格の良い猫に育てる）
21回	ブリーディング（離乳食）
22回	血統書について
23回	老猫のケアー①
24回	老猫のケアー②
25回	老猫のケアー③
26回	猫のシャンプー①
27回	猫のシャンプー②
28回	カラー遺伝①(ソリッド)
29回	カラー遺伝②(アグーチ)
30回	カラー遺伝③(優性・劣性)
31回	カラー遺伝④（ブラック遺伝・オレンジ遺伝）
32回	カラー遺伝⑤（半生遺伝）
33回	カラー遺伝⑥（両親から受け継ぐ遺伝）
34回	後期テスト
35回	後期テスト答え合わせ＆不理解部分の説明

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
「猫の教科書」

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
老猫のケアーを実践し、成猫までのケアー方法との違いに理解を深める

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

トレーニングケアゼミ演習

(授業概要)

特別講義や業界研究の機会をととして、自分が目指す職業理解を深める。また、自分を見つめなおすことで自分を客観視することができ、面接等にも役立てるような内容

科	生命科学科	きょういん 教 員	稲岡
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35×2

もくひょう
目 標

- 1 学期
- 就職に向けて、専門学校の強みは何か、授業はなんのためにあるのか、自分はどのような人間か、自分が目指す企業はどんな企業かを調べ、理解し、話せるようになる。
- ショップ実習室では、ショップ運営に必要なものとはなにかを理解し、実際に行動する。
- 2 学期
- 動物や自分の研究したことを人に伝えるということを意識して、グループごとに調べて人前で話す。

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 回 専門学校の特徴を知ろう/授業を知ろう
- 2 回 自分を知ろう
- 3 回 自分を知ろう
- 4 回 業界を知ろう
- 5 回 職業を知ろう
- 6 回 企業を知ろう
- 7 回 履歴書を作ろう
- 8 回 履歴書を作ろう
- 9 回 履歴書を作ろう
- 10 回 面接練習
- 11 回 面接練習
- 12 回 面接練習
- 13 回 面接練習
- 14 回 前期振り返り
- 15 回 卒業研究発表に向けて
- 16 回 卒業研究発表に向けて
- 17 回 卒業研究発表に向けて

18回	卒業研究発表に向けて
19回	自分が目指す職業について知る
20回	自分が目指す職業について知る
21回	動物特徴発表準備
22回	動物特徴発表準備
23回	動物特徴発表準備
24回	動物特徴発表準備
25回	動物特徴発表準備
26回	動物特徴発表
27回	動物特徴発表
28回	動物特徴発表
29回	卒業研究発表に向けて
30回	卒業研究発表に向けて
31回	卒業研究発表に向けて
32回	卒業研究発表に向けて
33回	2年間振り返り/自分の夢について
34回	卒業にあたっての決意表明
35回	トレーニングルーム掃除

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
グループディスカッション・実習・研究と発表準備

きょうざい 教材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

老齢犬ケア概論

(授業概要)

老犬の健康管理、ケア、介護、また老犬を持つオーナー様へのケアなど実際に仕事についたときに実践、アドバイスができる知識を学ぶ。

科	生命科学科	きょういん 教 員	稲岡
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん　じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35 時間

もくひょう
目 標

- 1 学期
- 老齢犬の基礎健康管理を学び、どのような変化が訪れ、どのように対応していくのかを学び、老犬がどのようなものかをイメージできるようになる。
- 2 学期
- 老齢犬の介護の方法、家庭でのケア方法、オーナー様のケアを学び、具体的に将来どのように活かしていくのかを各自考えられるようになる。

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 回
- 授業の説明、老齢犬について①
- 2 回
- 老齢犬について②、老齢犬の身体的トラブル①
- 3 回
- 老齢犬の身体的トラブル②
- 4 回
- 老齢犬の身体的トラブル③
- 5 回
- 老齢犬の身体的トラブル④
- 6 回
- 老齢犬の身体的トラブル⑤
- 7 回
- 老齢犬の身体的トラブル⑥
- 8 回
- 老齢犬の身体的トラブル⑦
- 9 回
- 老齢犬の身体的トラブル⑧
- 10 回
- 老齢犬の身体的トラブル⑨
- 11 回
- 老齢犬の身体的トラブル⑩
- 12 回
- 介護①
- 13 回
- 介護②
- 14 回
- 介護③
- 15 回
- 前期試験
- 16 回
- 前期試験
- 17 回
- 介護④
- 18 回
- 介護⑤

19回	介護⑥
20回	介護⑦
21回	介護⑧
22回	介護⑨
23回	介護⑩
24回	介護まとめ
25回	自然医学療法
26回	老齢犬のオーナーケア①
27回	老齢犬のオーナーケア②
28回	老齢犬のオーナーケア③
29回	老齢犬のオーナーケア④
30回	老齢犬のオーナーケア⑤
31回	老齢犬のオーナーケア⑥
32回	老齢犬のオーナーケア⑦
33回	就職したうえでの授業知識の展開
34回	後期試験
35回	後期試験

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん じゅぎょうたいど 期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
機会があれば老齢犬に関わり、普段の様子を観察する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

アニマルケア概論

(授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、トレーナー、動物看護師、ショップ、動物保護等）に就くために知っておくべき知識として、ホリスティックアニマルケア、ペットアロマセラピー（講義）、ホリスティックマッサージ（実習）を中心に学び習得する

科	生命科学科	教員	荻野
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年次	年間単位時間	70

目標

1学期

ホリスティックアニマルケア アロマセラピーを通じて、ペットの生活の質の向上を図るためにアロマの基礎知識を習得し、日本アロマ環境協会 アロマセラピー検定1級合格を合格できるようになる。

2学期

スキンマッサージを習得し、動物にリラックスと癒しを提供できるようになる。

全期を通して、人と動物の関係、そして動物とのより豊かな暮らしを考え、行動できる。

授業計画

- 1回 1 動物を飼う 「環境編」 1 動物を飼う 「予防編」
- 2回 1 動物を飼う 「愛情・絆編」 まとめ
- 3回 2 ペットとストレス 3・4 ストレスの原因
- 4回 5 アロマセラピー 6 精油とは
- 5回 7・8 精油の希釈濃度 植物が芳香物質を含有するようになった理由
- 6回 9・10 精油の抽出方法 11・12 においと嗅覚
- 7回 13・14・15 嗅覚の伝達メカニズム アロマのメカニズム
- 8回 16 アロマセラピーと基材
- 9回 17・18 アロマセラピーの取り入れ方
- 10回 30 種類の精油について
- 11回 アロマ検定1級模擬テスト
- 12回 ホリスティックマッサージとは

13 回	①なでる 手法実技
14 回	②たたく 手法実技
15 回	③引っ張る 手法実技
16 回	前期締め授業
17 回	テスト
18 回	テスト解答
19 回	④揺らす 手法実技
20 回	⑤もむ 手法実技
21 回	⑥押しまわす 手法実技
22 回	⑦手を当てる 手法実技
23 回	応用編
24 回	応用編
25 回	技術確認
26 回	実技テスト
27 回	実技テスト
28 回	実技テスト
29 回	実技テスト
30 回	食事栄養管理について①
31 回	食事栄養管理 実習
32 回	食事栄養管理について②
33 回	肉球クリーム作り/アロマふわふわボディクリーム作り
34 回	テスト（筆記）
35 回	テスト（解答）

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義、演習、グループワーク

きょうざい 教材
ノートプリント 1～22 マッサージ関連プリント 10 枚 精油一覧表

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
動物にかかるストレスを意識し、常にストレスがかからないように行動する

じつむけいけん じゆぎやうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係		
株式会社 IK 工業ペット事業部	D-HAB	経営

グルーミング概論・実習Ⅱ

(授業概要)

犬のグルーミング技術を身に付ける
中型犬、大型犬もこなし、大きい犬の扱い方を身につける
周りに気を配りながら行動できる人材の育成

科	生命科学科	きょういん 教 員	坂本 亜由美
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35×6 コマ

もくひょう
目 標

1 学期
犬に負担がかからないようにグルーミングが出来るスキルを習得
中型犬・大型犬・動き回る犬の保定が出来るようになる

2 学期
1 人で 1 頭仕上げる事が出来るようになる
グルーミングマスターライセンス取得を目指す
(チワワ 100 分・ダックスフンド、パピヨン 115 分以内)

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 回 グルーミング実習 (2 人で 1 頭)
- 2 回 グルーミング実習 (2 人で 1 頭)
- 3 回 グルーミング実習 (2 人で 1 頭)
- 4 回 グルーミング実習 (2 人で 1 頭)
- 5 回 グルーミング実習 (2 人で 1 頭)
- 6 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 7 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 8 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 9 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 10 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 11 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 12 回 前期試験期間 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 13 回 前期試験期間 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 14 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 15 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭)
- 16 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス方式で行い時間を意識
- 17 回 グルーミング実習 (1～2 人で 1 頭) ライセンス方式で行い時間を意識

18回	グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
19回	グルーミング実習（1～2人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
20回	グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
21回	グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
22回	グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
23回	グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
24回	グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
25回	グルーミング実習・ライセンス試験（2週に分けて実施）
26回	グルーミング実習・ライセンス試験（2週に分けて実施）
27回	グルーミング実習（1人で1頭）
28回	グルーミング実習（1人で1頭）
29回	グルーミング実習（1人で1頭）
30回	グルーミング実習（1人で1頭）
31回	グルーミング実習（1人で1頭）
32回	グルーミング実習（1人で1頭）
34回	グルーミング実習（1人で1頭）
35回	グルーミング実習（1人で1頭）

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
ブリーダー犬・一般犬を用いての実技実習

きょうざい 教材
グルーミング用品

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん じゅぎょうたいど 期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

ドッグトレーニング概論・実習

(授業概要)

犬学 家庭犬のしつけ
犬との生活に必要なルールやマナーの構築

科	生命科学科	教員	高山
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×6時間

目標

- 1 学期
人と犬との生活について必要なハウスマナーの構築、教え方を理解する
- 2 学期
人と犬との暮らしの QOL を考え、クライアントに提供する知識、技術を得る

授業計画

- 1 学期
- 1 回 実習の諸注意の確認、犬の散歩等の管理と取り扱いの確認、班分け、担当犬決め
- 2 回 犬のボディランゲージ、ストレスサイン、カーミングシグナルの確認
- 3 回 人と犬との生活について、リードプログラムの確認
- 4 回 犬の学習とは/拮抗条件付けとオペラント条件付け 1
- 5 回 犬の学習とは/拮抗条件付けとオペラント条件付け 2
- 6 回 行動の強化と消去
- 7 回 行動の般化と状況学習
- 8 回 正の強化とトレーニングの概念
- 9 回 強化の法則と強化スケジュール/強化子とは
- 10 回 二次性強化子とは
- 11 回 テスト
- 12 回 テスト
- 13 回 テスト返し、解答
- 14 回 前期のまとめ
- 15 回 ドッグアクティビティについて
- 16 回 ノーズワーク

17回	ラリーオビディエンス
18回	ドッグスポーツについて
19回	アジリティ
20回	アジリティ
21回	アジリティ・フリースタイル
22回	フリースタイル
23回	フリースタイル
24回	問題行動の予防
25回	問題行動の修正について1
26回	問題行動の修正について2
27回	問題行動の修正について3
28回	問題行動の修正についてクラスセッション
29回	犬の健康と行動の関係
30回	犬のボディコンディショニング
31回	犬のシニア期における行動の変化1
32回	犬のQRL
33回	テスト
34回	テスト返し、解答
35回	マナーハンドラーテスト

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学 実技実習

きょうざい 教材
テキスト、DVD、犬具、トレーニング用具等

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
実習犬の散歩等を通しての犬の管理や取り扱い

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

動物愛護推進活動

(授業概要)

動物愛護に関する事柄、ペットとの暮らしと社会貢献及び社会問題の解決（SDGS）を目標に
実習・校外実習、セミナー開催などを通じて学ぶ。
チームで目標達成の計画・実行・発表を行い、企業や行政との関係性を深め
社会貢献できる人材の育成を行う。
○動物愛護に関する小学校出張授業
○私とペットを守る 災害に備える同行避難について

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	荻野 直美
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35 × 5 時間

もくひょう
目 標

- 1 学期
6 月末 小学校へ訪問授業（動物愛護、動物を知る をテーマに 45 分間のセミナー）
●チームで協力すること、報連相の徹底、人前で話すことに慣れる
- 2 学期
10 月中 KAP 全学生への訪問授業を行う※要相談 学園祭での活動
（私とペットの防災について 50 分間のセミナー）
11 月中 一般の飼い主様向けのセミナーを開催
●動物愛護に関する社会貢献へのアプローチ方法を学ぶ
- 1 月中 卒業研修課題

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 回 自己紹介、年間授業計画の伝達と計画、小学校訪問への計画
- 2 回 小学校訪問授業 チーム分け、リーダー決定 （4 チーム）タイムラインの作成
- 3 回 授業制作開始①
- 4 回 授業制作開始②
- 5 回 授業制作開始③
- 6 回 授業制作開始④
- 7 回 授業制作開始⑤
- 8 回 全体通し練習開始
- 9 回 全体通し練習開始
- 10 回 本番※予定
- 11 回 小学校訪問の反省、課題提出
- 12 回 夏休み期間の課題とミーティング計画

- 13 回 前期の締め授業（成功塾）
- 14 回 私とペットの防災について講義 わんにゃん防災資格講座 6 時間
- 15 回 チーム分け、防災について考える タイムラインの作成
- 16 回 チームごとの役割を決める
- 17 回 制作①
- 18 回 テスト期間 制作②
- 19 回 制作③ 学園祭について
- 20 回 制作④
- 21 回 制作⑤
- 22 回 制作⑥
- 23 回 通し練習①
- 24 回 通し練習②
- 25 回 学園祭予行演習
- 26 回 学園祭反省会 制作
- 27 回 本番※予定
- 28 回 本番※予定
- 29 回 卒業研究課題 決定
- 30 回 卒業研究制作①
- 31 回 卒業研究制作②
- 32 回 卒業研究制作③
- 33 回 卒業研究制作④
- 34 回 卒業研究通し練習
- 35 回 後期テスト 生活発表及びセミナー課題提出

授 業 の 方 法

講義、演習、校外実習、グループワーク、プレゼン、セミナー

教 材

評 価 の 方 法

期末試験80%、出席率 20% 前期レポート、後期レポート提出

授 業 外 で の 学 習 方 法

夏季休暇中

班に分かれて、課題をまとめる。ミーティングは zoom を使用

けいけん じゅぎょう か もく かんけい 経験と授業科目の関係
あり

動物関連法規 II

(授業概要)

主に飼い主や所有者として知っておくべき動物に関する法律について学ぶ。

科	生命科学科	教員	井田 竜馬
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2 年	年間単位時間	35 コマ

目標
1 学期
動物の法的立場や飼い主の責任について理解していく。
2 学期
マンションにおけるペット問題、動物の譲渡等においてトラブルに巻き込まれないために実例などを元に理解していく。

授業計画
1 回 動物の法的立場 (1) 法律における動物の位置づけ
2 回 動物の法的立場 (2) 動物に財産を残す場合 その 1
3 回 動物の法的立場 (3) 動物に財産を残す場合 その 2
4 回 動物の法的立場 (4) 保護動物を飼育する場合 その 1
5 回 動物の法的立場 (5) 保護動物を飼育する場合 その 2
6 回 飼い主の法的責任 (1) 民法第 718 条について その 1
7 回 飼い主の法的責任 (2) 民法第 718 条について その 2
8 回 飼い主の法的責任 (3) 実例を元に考える その 1
9 回 飼い主の法的責任 (4) 実例を元に考える その 2
10 回 飼い主の法的責任 (5) 実例を元に考える その 3
11 回 マンションにおけるペット問題 (1) 管理規約とは

- 12回 前期試験
- 13回 前期試験返却・解説
- 14回 マンションにおけるペット問題（2）使用細則とは
- 15回 マンションにおけるペット問題（3）ペット可のマンションについて
- 16回 マンションにおけるペット問題（4）ペット不可のマンションについて
- 17回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄（1）寄託契約その1
- 18回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄（2）寄託契約その2
- 19回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄（3）寄託契約に関する実例
- 20回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄（1）贈与契約その1
- 21回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄（2）贈与契約その2
- 22回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄（3）贈与契約その3
- 23回 身体障害者補助犬法（1）法の概要
- 24回 身体障害者補助犬法（2）身体障害者補助犬の定義
- 25回 身体障害者補助犬法（3）アクセスの保証その1
- 26回 身体障害者補助犬法（4）アクセスの保証その2
- 27回 後期試験
- 28回 後期試験返却、解説
- 29回 獣医師法と愛玩動物看護師法（1）法の概要
- 30回 獣医師法と愛玩動物看護師法（2）診療行為とは何か
- 31回 獣医師法と愛玩動物看護師法（3）トリマーやトレーナーが行える行為など
- 32回 鳥獣保護法（1）身近な動物の規制について その1
- 33回 鳥獣保護法（2）身近な動物の規制について その2
- 34回 鳥獣保護法（2）身近な動物の規制について その3
- 35回 2年総復習

授業の方法

講義

教材

テキスト、自作のプリント

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゆぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

接客実践

(授業概要)

- ・接客をするために必要な知識・技術を身につける
- ・就職したとき、独立したときに戦力になることを目指す。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	稲岡
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんい じ かん 年間単位時間	35 時間

もくひょう 目 標
1 学期 基本知識
2 学期 実践

じゅぎょうけいかく 授 業 計 画
前期
1 回 自己紹介①
2 回 自己紹介②
3 回 接客とは（人と接するということ）
4 回 第一印象
5 回 人の表情
6 回 色が与える印象
7 回 接客への不満・言葉使い
8 回 人のカーミングシグナルから読み取る相手の気持ち
9 回 人の脳と接客の関係
10 回 後期振り返り・試験前対策
11 回 前期試験（実施）
12 回 前期試験（返却・解説）
13 回 接客の流れ（接客に入る前の準備）・トリマーとしての接客
14 回 電話での予約受付・電話での案内
15 回 店内での受付（カウンセリング）
16 回 販売のコツ・ザイオンス効果
17 回 年間行事・効果的なセールの開催法
18 回 POP とは

19 回	POP（文字練習）①
20 回	POP（文字練習）②
21 回	POP（作成のコツ）
22 回	商品情報の考察
23 回	
24 回	犬の絵・イラスト・スタンダードの作成
25 回	POP 作成①
26 回	POP 作成②
27 回	効果的なイベント開催法①
28 回	効果的なイベント開催法②
29 回	効果的なイベント開催法③
30 回	経営者の求めるイベント企画
31 回	後期振り返り・試験前対策
32 回	後期試験（実施）
33 回	後期試験（返却・解説）
34 回	クレーム対応
35 回	振り返り

じゅぎょう ほうほう 授 業 の 方 法
講義

きょうざい 教 材
ペン、プリント、商品見本

ひょうか ほうほう 評 価 の 方 法
きまつしけん 期末試験80%、 じゅぎょうたいど 授 業 態 度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授 業 外 で の 学 習 方 法
ノート復習

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授 業 科 目 の 関 係
有